

箕田古墳群(鴻巣市)

箕田2号墳(三土塚)(鴻巣市)

正面は墳頂に氷川神社が鎮座する箕田2号墳(三土塚)







箕田古墳群は6世紀初頭から7世紀中葉に至るまでの築造で、所在が知られている九基の古墳のうち、1、3号墳は消滅し、七基の古墳が残っているのみという

鴻巣市指定文化財(史跡)

みだこふんぐん

箕田古墳群

昭和四十五年三月一〇日指定

箕田古墳群は大宮台地の北端部、通称箕田台地と呼ばれる台地上にある。古墳群は、標高十六〜十八メートルの地点に、幅約六〇メートル、長さ一〇〇メートルの広い範囲に亘って散在している。

古墳の分布から、宮前支群、富士山支群、龍泉寺支群、稻荷腰支群、追分支群の五つに分けられる。これまでに九基の古墳の所在が知られているものの、現在は一、三号墳が消滅しているため、わずかに七基の古墳が残っているのみである。

周辺付近一帯から埴輪片が採集される事実からすると往時は相当数の古墳が存在していたものと思われる。鴻巣市では生田塚古墳群と並んで最も多くの古墳が密集していた地域である。

「新編武蔵風土記稿」の記述が古墳群に関する最古のものである。

昭和三年に柴田常恵氏によって七号墳の発掘調査が科学的調査の最初で、続けて二、三、九号墳(宮登古墳)で実施されている。

須恵器有蓋高坏・碌・埴輪・金環・切子玉・丸玉・鉄鏃等が発見されているが、九号墳は埴輪を伴っていなかったことが調査により明らかとなっている。

これらの発掘調査の成果によって、箕田古墳群は、六世紀初頭から七世紀中葉に至るまでの約一五〇年間に亘って築造されたことが判明している。



(箕田1,3号墳は現存しない)

みだこふうん 箕田二号墳

昭和四十五年三月一〇日指定

本墳の現状は直径三メートル、高さ二・七メートルを測る円墳である。墳頂に氷川神社があるため墳形は若干変形しているものの、全体として保存状態は良好である。

昭和五八年(一九八四)の発掘調査によって、墳丘を巡る周溝が確認され、そこから築造当時は直径三メートルの規模で箕田古墳群の中でも、箕田三号墳に次ぐ大きさであったことが明らかになった。また、周溝内より須恵器有蓋高坏・壺の破片及び埴輪片が検出されており、本墳は六世紀後葉に築造されたものであることが判明している。

なお、本墳の南側一帯は、箕田館の推定地であることから、「武蔵国郡村誌」には、武蔵守源仕及び妻子の墓とする古記述がある。しかし、源仕の活躍した年代と築造年代には大きな隔たりがあり、これは後世に古墳と館とが結びついて伝承されたものであろう。

また、同誌では本墳を「三土塚」と呼んでいる。

平成二十四年二月

文化財を大切にしましょう

鴻巣市教育委員会

○印の1、3号墳は消滅している



「鴻巣市指定文化財 箕田2号墳」の標柱





6世紀後葉築造の円墳/墳頂に氷川神社の祠が見える



反時計回りに墳丘を廻ってみる







墳丘の周囲には周溝が巡っていたとされる







前面道路が見える



前面道路から見る



さて、墳頂に登ってみる





振り返って見る



右手を見る



裏手を見る



左手を見る





このような石片が散見された



墳丘にあった馬頭観世音と記された碑



箕田3号墳跡(鴻巣市)

この前方に箕田3号墳があったらしい



武蔵水路の工事で消滅してしまったという



箕田4号墳(鴻巣市)

正面の墳頂に祠が立っている高まりが箕田4号墳/7世紀代築造の円墳とされる



アップで見る



更にアップにして見る



左手に廻って見る



アップで見る



更にアップにして見る



箕田5号墳(浅間神社古墳)(鴻巣市)

正面遠方の木々の辺りが箕田5号墳





浅間神社となっている





墳頂に祠がある





振り返って見る







さて、時計回りに境丘の周りを廻って見る







裏手の武蔵水路側から見る





箕田6号墳(鴻巣市)

正面左手の木々の中に箕田6号墳がある



正面に墳頂に立つ祠がかすかに見える





確かに墳丘である



墳丘の法面



裏手から見る



6世紀後期の円墳とされる



墳丘の法面



箕田7号墳(鴻巣市)

正面の木々の辺りが箕田7号墳/円墳







ブッシュで墳丘が見えない







何となく墳丘の裾の辺りの感じが出ている





箕田8号墳(鴻巣市)

正面の木々の辺りが箕田8号墳





左手の木々の辺りが箕田8号墳/右手の木々の辺りは箕田7号墳







正面に説明板が立っているの見える



境頂には祠が立っている



鴻巣市指定史跡

昭和四十五年三月十日指定

箕田みだ古墳群こふんぐん…箕田八号墳みだはちごうふん

この箕田八号墳は、台地の斜面上に造られているため、斜面下側からと上側からとでは見る位置の違いで規模が異なるように感じられる。

現状は長径一六・七メートル、短径一〇・五メートルの長楕円形で、西側の墳裾からの高さは三・一メートルである。本来は直径二〇メートル以上の規模となる円墳だったと推察される。また、周囲の状況から墳丘を巡る周溝が存在するものと思われる。

これまで正式な発掘調査が行われていないため、埋葬部の形状・出土遺物等は明らかになっていない。墳裾付近から採集された円筒埴輪の特徴から、築造年代は古墳時代後期（六世紀代）と推定される。

古墳時代後期になると、一定の地域内に小規模な古墳が群集するように造られるようになった。箕田古墳群もそうした古墳群のひとつで、この箕田八号墳は、箕田古墳群の中の富士山支群に属している。

現在この周辺には、南方約五〇メートルに箕田七号墳が存在しているだけであるが、かつては多数の古墳が存在していたとみられる。

平成二十四年二月

鴻巣市教育委員会



文化財を大切にしましょう



反時計回りに墳丘を廻って見る











さて、墳頂に登ってみる







板碑の残骸が置いてあった





箕田9号墳(宮登古墳)(鴻巣市)

ここは宮登神社/右手に説明板がある



鴻巣市指定史跡

みやとこふん

宮登古墳(箕田9号墳)

昭和四十五年三月十日指定

箕田古墳群中の一基で、荒川に面する大宮台地の西側縁辺部に位置している。

墳丘の保存状態は比較的良好で、直径二〇m、高さ二m程を有する円墳である。昭和三十四年に埋葬部の発掘調査が行われており、それによると主体部は、角閃石安山岩を使用した胴張り型横穴式石室で、玄室長二・九m、奥壁幅一・三m、高さ一・六五mを有する。

玄室内からは、須恵器瞭・鉄鏃・切子玉(水晶製)・管玉・丸玉他が出土しており、これらの遺物から七世紀の前半～中頃にかけて築かれた古墳と考えられている。また、埴輪類は認められていないので、埴輪樹立の風習が行われなくなった以後のものであろう。

なお、石室に使われた角閃石安山岩は、群馬県榛名山二ツ岳の爆発によりできた岩石で、利根川流域に分布する。本墳を作った人々は利根川からわざわざこの岩石を運んだものであろう。

昭和六十二年三月

鴻巣市教育委員会



文化財を大切にしましょう。



さまざまな石造物



庚申供養塔と記されている



正面の社殿の裏手に箕田9号墳(宮登古墳)があるらしい



社殿右手にある集会所の公園側から社殿を見る/社殿右手(社殿の裏手になる)に箕田9号墳(宮登古墳)の高まりが見える



拝殿



社殿(本殿)裏手に墳丘が見えてきた



これが箕田9号墳(宮登古墳)



墳頂に登って見る







墳丘の法面に石室らしきものが突出している





角度を変えて見る



斜め後ろから墳丘を見る



集会所の公園側から全体像を見る



集会所の公園から見た宮登神社社殿/左手が拝殿、右手が本殿



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida2.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida4.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida5.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida67.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida8.html>

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kounosu/mida9.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida1.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida2.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida3.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida4.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida5.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13 knos/mida6.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/13_knos/mida7.html

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/f6317557bf95a4a96f1517a84235b670>

<http://jinnseiwotanosimou.cocolog-nifty.com/blog/2012/08/post-1be6.html>

http://www.geocities.jp/wind_of_hometown/bunkazai/hakutuhin.html

<http://www.ipn-hayashi.com/cgi-bin/pilist.cgi?mode=古墳群&sub1=&choice1=箕田&choice2=&choice3=&area0=自治&area1=埼玉県&title0=箕田&title1=古墳群&item2=&item0=1&item1=&browser=99&column=24&font=20&screen=240&life=>

<http://www.geocities.jp/nekosinoie/kofun/kofunHP/kofun101.html>



